

人池

マジシャン・カズさんに学ぶ

2月10日（月）に、上越市出身で世界的に活躍するマジシャン・カズさんをお招きして、トークショーと5・6年生向けのキャリア教育講演会を行いました。前半のトークショーでは全校児童の他、保護者や地域の方々、明治保育園の園児と職員の皆さんからお越しいただき、マジックを交えながら楽しい時間を過ごしました。保育園児から大人までがみんなで楽しめる素晴らしいショーであったと思います。特に、明治保育園の子どもたちの反応がよく、カズさんもたいへん喜んでおられました。



後半のキャリア教育講演会では、カズさんがマジシャンを目指し、努力・苦勞した末に今の地位を獲得し、様々な活動をするに至った経緯を話していただきました。その中で、あいさつをしっかりとる、礼儀正しくする、途中であきらめずに粘り強く取り組むなど、社会で生きていく上で大切なことを教えていただきました。この教えを生かして、たくましく自分の道を切り拓いていってほしいと強く願います。

明治小学校のあたたかさに改めて感謝

私事ですが、2月5日に還暦を迎えました。その日、全校朝会が終わった際、子どもたちが私の誕生日を祝ってくれました。サプライズのイベントに驚きと感激で思わず涙が出てきました。こんなにあたたかい心をもった子どもたちとそれを指導してくださる素晴らしい職員に恵まれ、大きな幸せを感じています。明治小学校に勤務できたこと、皆さんと一緒に活動できることを心から感謝すると共に、誇りに思っています。私は、日本一幸せな校長です。



●2月下旬～3月上旬の予定

2月 14日（金） 移行学級、保小連絡会
 19日（水） 縄跳び大会
 27日（木） 新入学予定児童体験授業
 学校運営協議会③

3月 2日（月） 6年生スタートアップ 学習
 3日（火） 全校朝会
 4日（水） 4年 二分の一成入式
 6年 感謝の会
 金管移杖式、年度末PTA
 7日（土） 頸城中学校卒業式
 10日（火） 6年生を送る会
 12日（木） 同窓会入会式



冬の星空を眺めて ～コペルニクスの発想の転換を～

2月5日の全校朝会で、こんな話をしました。

空気のきれいに澄んだ冬の夜空の眺めは、実に美しいものですよね。みなさんの中にも天気の良い日に、この美しい夜空の星を見ながらもの思いにふけている人もいることでしょう。今は、おおくま座の北斗七星やオリオン座、冬の冬大三角形、おうし座の“すばる”もすごくきれいに見えていますね。



冬の空に輝くオリオン座

この夜空を見ていてよく考えることをお話します。

☆☆

16世紀の半ば、ルネサンスの時期に、ポーランドでニコラウス=コペルニクスという人が、熱心に星空を観察していました。それまでは、地球の周りを、太陽をはじめとする天体がまわっているんだという“天動説”が、一般に信じられていました。当時のヨーロッパは、キリスト教が絶大な権力をもっていた時代ですから、そのキリスト教の教える世界、すなわち“天動説”も絶対的な力をもっていたのです。また、一般の人たちにとっても、自分たちが生活している地面が動いているということは、とても信じにくいことでもありました。

こういう状況の中で、コペルニクスは“地動説”を発表したのです。当然のことながら、この説はすぐには受け入れられず、ずいぶん誤解されたり、迫害を受けたりしました。しかし、この“地動説”という正しい考えは、その後ガリレオ=ガリレイという科学者に受け継がれ、今では“常識”ということになっているわけです。

☆☆

このような、今までとは全く逆の考え方をすることをコペルニクスの発想の転換といいます。

人というものはいつも自分を中心に物事を考えてしまいがちです。それは、地球のまわりを他の天体がまわっているという“天動説”のようなもので、自分のまわりを友だちが、学校が、家庭が、そして、社会全体がまわっているかのように誤解しているのです。これが“自己中心的”という考えです。

このような考え方をしている人がいたら、コペルニクスの発想の転換によって、ちょっとものの見方を変えてみてください。友だちの側から自分を見つめてみたり、学校や家庭や社会の中で、自分がどのように動いているのかを客観的に見つめ直して見ると、今までとは違った自分が見えてきたり、新しい世界が開けてきたりするのです。

自分の考えや行動の中で、変えていかなければいけないところはないでしょうか。ときどき、このコペルニクスの発想の転換で、自分自身を、そして、自分のまわりを見つめ直してみてください。きっと自分にとってプラスになる新しい発見が得られるはずです。

こんなことを繰り返しながら、これからの長い人生を自分の力でときどき軌道修正して、力強く歩いていってほしいと心から願っています。